

■第2回ワークショップ 参加者の皆さんからの主な意見

テーマ1：高田松原の利用のリスク軽減

＜津波規模の想定＞想定する津波規模の設定は難しい／避難に要する時間を再確認すべき／以前の津波を基準に考えるべき

＜避難施設＞避難タワーやシェルターの設置／避難用の船の設置／ヘリポートの設置

＜避難ルート＞国道45号へ向かう古川沼の横断橋／国道45号の渋滞を防ぐ対策（ゲート等で強制的に）／国道45号に立体横断施設を設置／気仙川の横断は避難ルートにしない／緊急車両の通れる幅員確保

＜避難サイン＞避難路を色や光、植栽で表示／花火等で危険を伝達／海拔高度や避難距離を表示／立体避難地図の設置

＜車での避難＞車での避難は避けるべき／距離的に車でないと避難が困難／車での避難訓練を実施して検証

＜要介護者への対応＞身体障がい者用の駐車スペースを確保／入園の意思確認の工夫（チケット等）

＜ソフト対策＞危険な場所であることを周知するための工夫（海が存在、公園の広さ等）／自己責任のもとでの立入（高台から離れたエリアについて）／避難ルールづくり（土地を知るお年寄りや避難経験者へのヒアリング）／地域で避難マップを作成、来園者へ周知／毎日避難訓練を行う

テーマ2：利活用（教訓の伝承）

＜誰に＞次世代の子供たち／次に津波のリスクがある地域の人／津波を経験していない人／災害のリスクを抱えている人／修学旅行生

＜何を＞命の大切さ／地元の人にとって見ることが辛い津波の体験／復興の経過と町や住民意識の変化／目に見えない市民の感情／避難所や仮設住宅等での暮らしぶり／障がい者の死亡率が高かったこと

＜どんなふうに＞展示を常に更新できるようにする／災害は日常の中で起こりうると実感できるよう／情報収集や研修が行える施設に

＜震災遺構＞災害のダメージが理解できるものは残しておきたい／雨ざらして痛んで震災のダメージと分からなくなってしまうのなら残す意味がないのでは／二次災害が起こらないことが必須／その場で厳かな気持ちになれる見方や伝え方／希望者だけでも中に入れるような手直しを／中の様子が分かるカメラの設置

テーマ3：利活用（レクリエーション・交流）

＜市民の利用する公園＞日常的に使う場所は市街地に近い場所に／子供を遊ばせる場所を早期に／車道と交錯しない遊歩道・ランニングコース／市内各所の公園・施設（野外活動センター等）との役割分担／駐車場の充実／使いやすく維持管理がしやすい施設

＜市街地との連携＞公園内で完結しない利用形態（市街地での宿泊・飲食などと連携した取り組み）／市街地の商業者も参加した検討／公園内施設で市街地の魅力発信（スマホ等の活用）／公園と市街地を巡る交通システム・乗り物、ストーリー性のある周遊ルート

＜地域の参加＞地域事業者が優先して公園内に来店できる仕組み／公園管理への地元企業の参加

＜市外からの来園者・リピーター確保＞県内被災自治体の情報発信ブース／がれきやモザイクアート・植樹等の継続参加型イベント／被災前からの高田の歴史文化の紹介／修学旅行生の受入／地場産食材を使った飲食／スポーツ施設の充実／特定のスポーツに特化する／釣り・カヤック等の水辺の利用／子供が行きたくなる施設等の整備／花火、マラソン、ロックフェス等の大規模イベントの開催／津波以外の特色も必要

テーマ4：植栽・自然再生

＜高田らしさ＞高田松原の復活／ツバキ・ツツジ・チャノキ（気仙茶）・ヒカミサンベニヤマボウシなど高田らしい植栽／リンゴ・牡蠣・わかめ・たかたのゆめなど特産品の販売／震災前の松原にあったハマナス等の復活／高田松原のDNAをもつマツ苗植栽

＜収穫の楽しみ＞収穫したハーブティーなどを飲める場所を／ツバキ油の活用・実の換金／松原でキノコの収穫

＜水辺の利活用＞湿地の環境学習施設／シジミがとれる古川沼に／釣り堀・カキ小屋／噴水を設置し水質浄化と観光に／海水浴の復活／恋人の聖地づくり／白鳥が憩う沼にする

＜維持管理・市民参加＞灌水用の水源確保／松葉を肥料に／年間の維持管理を平準化できる植栽計画／来園した観光客が気軽に参加できる維持管理プログラム／ヤギによる除草／学校との連携／市民の手でマツ苗の植樹を／花や農業・漁業など専門家に協力・支援してもらえる仕組みづくり／園芸講座等の学びの場／公園内で活動する人たちの交流の場

＜その他＞キャンプ・バーベキューがしたい／木材など自然素材を使った公園づくり／季節ごとに花を楽しむ公園／潮風に耐える品種を植えるなど適材適所の植栽／陸前高田市と交流のある都市に関わる樹木の植栽／昔のように花見ができる桜の復活

復興News 陸前高田

＜第33号＞

平成28年5月発行

陸前高田市復興局

ニュース①

高田松原津波復興祈念公園についてみんなで語り、その思いを公園づくりにいかしませんか

みんなで聞いて
みんなで語ろう

第3回から初参加される方も
歓迎します!

高田松原津波復興祈念公園
市民協働ワークショップ
第3回 すぐ始められる取組み
を探そう!

はまって
かだって

平成28年 6月15日 水
18:30~21:00

高田松原津波復興祈念公園の市民協働ワークショップを下記のとおり開催します。復興祈念公園をより良い公園とするための話し合いの場ですので、ぜひご参加ください。

【主催】 岩手県・陸前高田市 【問合せ先】 岩手県県土整備部都市計画課（電話：019-629-5890）

場 所	陸前高田市役所 4号棟3階第6会議室
参加費	無料
参加資格	中学生以上（市外在住の方含む）
申込方法	①氏名、②年齢、③住所、④電話番号、⑤参加希望テーマ（裏面参照）を下記いずれかにご連絡ください 平成28年6月6日（月） 17:00 必着

申込先	＜電話・電子メールの場合＞ 上記①～⑤の事項をお伝えください。 ＜ファックス・郵送・持参の場合＞ 裏面の申込用紙をご利用ください。
陸前高田市建設部都市計画課	岩手県県土整備部都市計画課
【電話】 0192-54-2111	【電話】 019-629-5890
【電子メール】 tosikei@city.rikuzentakata.iwate.jp	【電子メール】 AG0007@pref.iwate.jp
【ファックス】 0192-54-3888	【ファックス】 019-629-9137
【郵送・持参】 〒029-2292	【郵送・持参】 〒020-8570
陸前高田市高田町字鳴石 42 番地5	盛岡市内丸 10 番 1 号
陸前高田市建設部都市計画課 宛	岩手県県土整備部都市計画課 宛

